

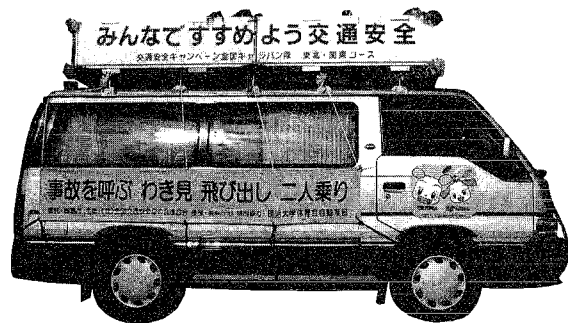
交通安全 全国キャラバン隊訪問

8月25日(月)、全国交通安全母の会連合会の主催により交通安全全国キャラバン隊が月潟村を訪問されました。毎年、交通安全キャラバン隊は交通安全キャンペーンのため各都道府県をまわっているわけですが、本県は、全国7コースのうち東北・関東コースに属し、8月21日の山形県から9月12日の千葉県までの7県の中に入っています。新潟県では、8月25日～27日までの3日間にわたり県内7市町村を訪問され総務庁長



官のメッセージをいただきました。25日は、まず県庁で出発式を行い、黒埼町・味方村の順で訪問。月潟村でも午後3時から保健福祉センターを会場に「交通安全メッセ」伝達式が行われ、交通安全母の会・交通安全対策協議会・交通安全協会・安全運転管理者協会・月潟村老人クラブ・交通指導員の方々のご協力により盛大な式になりました。伝達式では、新潟県母の会連合会長の藤田禮子さんから総務庁長官のメッセージを朗読していただきました。

(主要部分抜粋)
交通事故による年間死者数は、昨年九年ぶりに一万人を下回りましたが、政府といたしましては、安全で快適な交通安全社会を実現するため、今後も更なる減少を目指し、第六次交通安全基本計画に基づく高齢者や若者の交通安全対策、シート



ベルト着用の徹底、安全かつ円滑な道路交通環境の整備などを強力に推進しているところであります。

しかしながら、交通安全を確保し、国民を交通事故の脅威から守るには、政府の取り組みに加え、国民一人一人が交通ルールを守り、思いやりの心を持って行動することが大切です。この点につきましては、総務庁といたしましては、国民の皆様方に積極的に働きかけてまいる所存であります。(抜粋おわり)



また、月潟村長もキャラバン隊に対し、「交通安全」と書かれた色紙を渡し、激励しました。メッセージ伝達式が終わりキャラバン隊は月潟保育園で交通安全教室を行いました。キャラバン隊の合図に従い、手を挙げるなど反射の運動をした後は、ハンカチを使って華麗な手品や輪を使った芸などを披露していただきました。約1時間30分にわたり交通安全の普及に努めていただき、村民の方も交通安全を少しでも意識されたのではないかと思います。これを機会に交通安全事故のない月潟村をつくっていきましょう。

秋の全国交通安全運動

9月21日～9月30日

夏休みを終え、秋に入り気温も涼しくなってきました。夏に海水浴や旅行など楽しまれた方も多々ありますが、気持ちを切り替えて勉強に仕事にがんばっていきましょう。本運動は、夕暮れは、気くばり、目くばり、思いやりをスローガンに9月21日～30日までの10日間、全国一斉に行われます。そして、重点目標は次の3点です。

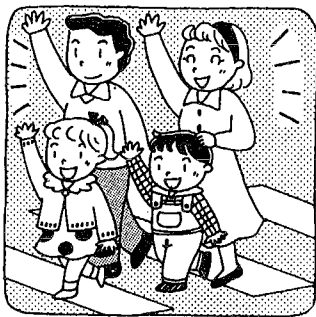
①高齢者の交通事故防止

高齢になると、「自分はまだまだ若い」と思っている場合も多い。ほか運動神経等が衰えてきます。そのことを自覚し、一般的特性を知り安全運転に心掛けます。

- ・一般的特性としては
- ・車のスピードに対する判断力が衰える。
- ・車の音が聞こえにくくなる
- ・夜間視力が衰える。
- ・他人への依存度が大きくなる。

②シートベルト着用の徹底

シートベルトの不着用が安全運転義務違反となつてからしばらくたちますが、依然として不着用の人がいるようです。いつ起こるかかわらない



事故、そんな時のためにシートベルトは役に立ってくれます。車に乗ったら、必ずシートベルトを着用して運転しましょう。

③ライトの早めの点灯と反射材の活用

秋になり、日暮れも早くなりました。今まではライトなくても見えていたのに今では見えにくくなったということはありませんか? ライトをつけないと自分も前方が見えにくいことはもちろんですが、相手も自分のことを発見しにくくなります。歩行者・自転車の方も反射材を身につけ、手から発見してもらおうよう心掛け、事故にあわないようにしましょう。

夏の交通事故防止運動

交通指導所設置

夏の交通事故防止運動の一環として、8月6日(水)午後5時30分から交通安全協会・交通安全母の会・白根警察署・月潟駐在所のご協力により、青柳建設協十字路において交通指導所を設置し、交通安全を呼びかけました。

仕事も終わり、「ようやく家へ帰れると思ったのに」に目前に警察が……。なんてびっくりされた方もいるようですが、役員の方の呼びかけにも気軽に応じ、チラシと粗品(ウエットティッシュ)を受け取つ



て下さいました。また、中にはシートベルトを締めていない方もいましたが、万一の安全のためシートベルトは欠かせませんので、必ず着用しましょう。

9月下旬にも交通指導所を設置する予定です。粗品を用意しておりますのでお楽しみして下さい。

